



# ペンぎん組 にこにご通信 NO.6



## ～手作り玩具でままごとあそび～

6月の通信でお伝えしたように1歳児は、少しずつ手のコントロールができるようになっていきます。そこでいつも子どもたちが夢中で遊んでいるままごとあそびを発展させ、手や指先の発達を促せないかな、更に夢中になって遊べるようにならないかなと思い、いくつか手作り玩具を用意し、玩具棚に入れておきました。

玩具棚を利用して、口の部分が開いているゴリラのイラストの穴落としを作ってみました★  
その名も「ぱくぱくゴリラ君」

下の段、左側にはペットボトルのキャップを2つ合わせ、ビニールテープでくっつけた手作り玩具がお茶碗に入れています。子どもたちが遊びの中でもスプーンを使う練習が楽しくできたらいいなと思い、スプーンも一緒に置いてあります。



下の段、右側にはままごとのごちそうが入っています。



上の段にはカバンが入っています

夏祭りに屋台でお買い物をした時に買った物を、自分の紙袋に入れて帰ってくるという体験が楽しかった子どもたち。棚から好きなカバンを選び、下の段に入っているごちそうをカバンの中に詰め込んでお部屋の中を歩いてお買い物。友だちや保育教諭の元へ行き、ごちそうを「どうぞ」と言いながら渡してくれます。また、「もぐもぐ」と言いながら口元まで運び食べさせてくれる可愛い姿もあります。



どこにお買い物へ行こうかな



ぱくぱくゴリラ君の口の中がままごとのごちそうでいっぱいになるほど食べさせています。また、保育者のねらい通り、お椀に入ったペットボトルのキャップをスプーンでそっとすくい、ぱくぱくゴリラ君に食べさせようとしている姿も見られます。すくうことができても口まで運ぶことは難しいようで自分の口もポカンと開けたまま、集中して慎重に慎重に運ぶ姿が可愛いです。



難しいな

予想していなかったこんな遊びも！！



ペットボトルのキャップを積み木のように上へ高く積み上げ遊ぶ姿も見られました。そーとそーと積み、1つ積み上げるごとに嬉しくて立ち上がり、「やった～」と跳びはね喜ぶS君。その度に積み上げたペットボトルのキャップは崩れちゃうのですが崩れるたびに積み上げ、そしてまた飛び跳ねてを繰り返すS君の姿がとても可愛かったです。



そーとそーとここかな？

ペットボトルのキャップを食材に見立てお鍋に入れてお料理。また、コップの中に沢山入れて「ジュース」「アイス」と言って見立て遊びにもつながっています。おままごと品の既製品のごちそうとは違い、子どもたちのイメージを膨らませてくれるようです。また、少しずつ言葉が出始めている子も一所懸命伝えようとしてくれていますよ。